

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



学校だより

えのき

9月号



皆野町立皆野小学校 令和7年9月1日 発行

「防災の日」に思う～皆野小の安全教育～

校長 吉田 浩

44 日間の長い夏休みが終わり、皆野小にも子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休み中に、大きな事故や事件に巻き込まれた報告もなく安堵しています。本日9月1日は、**防災の日**でもあり、子どもたちの危険予測・回避能力を育成する「**安全教育**」の大切さを改めて確認する日でもあります。

小学校の安全教育目標は、「安全に行動することの大切さや、『**生活安全**』『**交通安全**』『**災害安全**』に関する様々な危険要因や事故等の防止について理解し、日常生活における安全の状況を判断し、進んで安全に行動ができるようにするとともに、周りの人の安全にも配慮できるようにする。また、簡単な応急手当てができるようにする」と示されています。



皆野小の安全教育では、『**生活安全**』については、日常の生活指導に加えて、非行防止教室を10月の学校公開日に実施いたします。また、薬物乱用防止教室も今後計画しています。『**交通安全**』は、一斉下校時の指導や、交通安全教室を行っています。『**災害安全**』は、日常の指導に加え、秩父消防署の協力もいただき、学期に1回、火災や地震に対応する避難訓練を行っています。

安全教育は、各教科、道徳科及び総合的な学習、特別活動においても、それぞれの特質に応じて適切に行います。また、**SNSに起因する犯罪や、性犯罪・性暴力などの対策**についても、現在は安全教育に含まれてきています。そのため、日常の指導に加え、養護教諭も加わり、学年ごとに「**生命(いのち)の安全教育**」も実施し、自分や他の人の体を大切にする事等を学びました。



「生命(いのち)の安全教育」

低学年では、規範意識の高さや、素直さを活かし、**約束やルールを知り、それを守る**ことを身に付ける学習が有効です。**高学年**になってくると、心理的発達も進むため、インターネット等の情報を活用して**危険を予測したり、回避したりするための判断材料**にすることもできるようになります。発達とともに「**約束やルールを守る**」ことから、「**危険予測・回避能力の育成**」に移行していきます。

今年も各地で豪雨等の災害や、子供たちを巡る事件や事故が発生しています。子どもたちも成長とともに、**行動範囲が徐々に広がり、多くの危険に出合う可能性が高くなります**。そこで、自分自身で**安全な行動を選択**することが求められます。皆野小においても、今後も引き続き、危険予測・回避能力をしっかり育成していきたいと思えます。